

総合企画部報告書情報シート

記入年月日：2023年11月1日

情報No.	P-23-1	情報区分	プラ循環協調査報告
-------	--------	------	-----------

題名 報告書名	マテリアルリサイクル促進に向けた調査及び検討報告書				
報告年月	2023年6月	ページ数	105	著者・ 出版元	日本プラスチック有効利用組合 全日本プラスチックリサイクル工業会 プラスチック循環利用協会

【キーワード】

処理方式	マテリアルリサイクル	要素技術	用語の定義、認証制度
樹脂類別		化学物質名	
形状別		用途別	
法規制		国別	日本

調査 研究 内容	<p>【調査の背景と目的】</p> <p>国内における「モノづくり」を標榜するマテリアルリサイクル事業者およびリサイクル製品事業者は、「プラスチック資源循環戦略」の重要な担い手であり、その社会的使命は今後ますます高くなる。「再生利用の倍増」のためには、今まで以上に再生品の用途の幅と量を増やす取組が必須であり、そのためには再生品の品質、安全性、信頼性を向上させる努力が常に求められる。そこには、時代の変化に追従し、新しい製造技術の取り込みや品質管理の標準化などのメーカーとしての地道な取組みと平行して、IoT や AI 等を活用したサービスと商流のネットワーク化による参加企業のポテンシャルの最大化も視野に入ってくる。</p> <p>日本プラスチック有効利用組合、全日本プラスチックリサイクル工業会及びプラスチック循環利用協会の三団体は、健全な国内におけるプラスチック資源循環経済の形成を確かなものとし、関連産業の持続可能な振興にも繋げるための下地作りやデファクトスタンダードの発信を目的として、マテリアルリサイクルに関する最新情報を集め議論するための「マテリアルリサイクル促進に向けた勉強会」を開催することとした。本報告書は、勉強会における調査、議論及び検討した内容をまとめたものである。</p>
調査 研究 結果	<p>【主な調査項目】</p> <p>1) マテリアルリサイクルに関する用語の調査</p> <ul style="list-style-type: none">・廃棄物/回収・ポストコンシューマー /プレコンシューマー (ポストインダストリアル)・マテリアルリサイクル /再生材料 (リサイクル材料) /再生製品 (リサイクル製品)・マテリアルリサイクルフローと既存規格の対応/リサイクル率・技術用語 <p>2) マテリアルリサイクルに関する認証制度</p> <ul style="list-style-type: none">・国内マテリアルリサイクル関連認証制度/プラスチック資源循環促進法における製品認定・海外マテリアルリサイクル関連認証制度/ISCC Plus とREDcert2・欧州でのリサイクラー事業者認証制度 EUCertPlast.